



令和4年度 地域企業等との交流事業

地元で活躍する庄内人～地域の魅力と課題 in2022～ 2年次生が地元の皆さんから実践事例を聞き研究テーマの参考に

県が地域の高校と連携 先輩から地元企業の魅力聞く

就職に備え目標づくりや課題解決へセミナー

地元で活躍する「先輩」から地域の魅力を教わる「地域産業理解促進セミナー」が14日、鶴岡中央高校（兼子由香校長）で行われた。庄内地域で活躍する社会人6人が高校生へ、人生の目標や仕事を通して地域課題に向き合う姿勢などを伝えた。

進学率が毎年60%超と高い数値になる庄内地域で、高校生に地元企業の魅力や地元で働く意義を伝えよう



と、県庄内総合支庁が地域の各高校と連携し2018年から実施している。本年度は庄内地域の7校でセミナーが開かれる。

今回は鶴岡中央高校の2年生232人が6グループに分かれ、ラジオパーソナリティーや地域おこし協力隊員など6人の講師の中から希望する2講座を受ける形式で行われた。このうち薬剤師の栗原智広さん（鶴岡市）は「1勝9敗でも楽しい早くゴールしてやろう」

と相手と比較した結果を大事にし、カメは『ゴールを目指そう』と絶対的な目標を持った。社会に出ると周囲との相対で評価されることが多い。それに対し人生の中で絶対的な目標を持ち、2つの評価をバランス良く自身で消化していくことが「大事」と呼び掛けた。

また、地域課題と自分の仕事について「薬剤関連の教育コンサルティング会社を立ち上げたばかり。薬局によってレベルの違いがあるという地域課題と、鶴岡の薬局のレベルを上げたいという自分の目標がマッチした」と話した。

庄内総合支庁より協力を

いただき事業を実施しました

庄内日報

令和4年9月16日

